

事業番号	14 05 05	事業改善シート(26年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	「未来を拓く学力」の向上事業費		担当課	部局 教育委員会事務局 課・室 教学指導課 E-mail kyogaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画	プロジェクト	8-1-2 教育再生プロジェクト		実施期間 H24 ~
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 1 未来を切り拓く学力の育成		

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校に重点を置き、学力向上を図る。 ・家庭や地域と連携し、新たな家庭学習のモデルをつくる。 		
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査結果では、中学校においては国語Aを除き全国平均を下回った。 国語B 全国67.4 長野県65.9(-1.5) 数学A 全国63.7 長野県61.9(-1.8) 数学B 全国41.5 長野県40.2(-1.3) ・長野県の中学生は家庭学習の時間が少なく、家庭学習で予習・復習を行っている割合も少ない。 2時間以上学習 全国36.5% 長野県30.2%(-6.3) 予習を行う 全国33.5% 長野県20.7%(-12.8) ・放課後を利用した補充的な学習サポートが少ない。 月に1回以上実施 全国48.5% 長野県33.3% 		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 児童生徒に確かな学力を身に付けさせるためには、学年の系統的指導や家庭学習の充実を図ることが必要であり、県が継続して関与していく必要がある。	
	県民との協働による実施: 検討中		

事業内容	① 成果目標(H26)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的基本的な内容の定着度が全国平均より高い児童生徒の割合: H29年度小65% 中60%に向け、H26年度小63.1% 中57.9% ・学習したことを実生活の場面に活用する力が全国平均より高い児童生徒の割合: H29年度小60%中56%に向け、H26年度小58.8% 中54.7% 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
		学力スパイラルアップ事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・学力実態を把握し、確実に定着するまで指導する仕組みの構築 ・教員の意識を高めるための学力上位県の視察と講演会の実施 ・学級規模に応じた指導法の研究と、授業の基本の再徹底 	3,069	3,592	3,307
	新たな家庭学習モデル創出事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・授業と関連付けた家庭学習、補充学習の実践研究 ・家庭と協働した効果的な家庭学習システムの普及 	454	454	324	
	理数教育充実支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校理科教員のための観察・実験出前講習会の実施 ・一流講師に学ぶ(中学校理科教員の実験実技講習会)の開催 ・中学生サイエンスグランプリの実施 ・算数数学問題作成チャレンジコンテストの実施 	874	786	1,262	
	学力格差解消に向けた補充的な学習サポートモデル構築事業	直接				500	
	合計			4,397	4,832	5,393	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額				
	前年度繰越				
	当初予算	5,850	5,804	4,397	5,393
	補正予算			600	
	合計(A)	5,850	5,804	4,997	5,393
	Aの財源				
	国庫支出金				
	県債				
	その他(繰入金等)			215	433
一般財源	5,850	5,804	4,782	4,960	
決算額(B)	5,776	4,983	4,832		
概算人件費					
職員数(人)	2.50	3.00	3.00	3.00	
概算人件費(C)	20,645	24,774	24,774	24,774	
概算事業費(B(A)+C)	26,421	29,757	29,606	30,167	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
基礎的基本的な内容の定着度	小64.7% 中54.5%	小63.1% 中57.9%	小65.3% 中58.1%	小 達成 中 達成	小63.7%以上 中58.6%以上
学習したことを実生活で活用する力	小59.7% 中52.3%	小58.8% 中54.7%	小59.5% 中54.7%	小 達成 中 達成	小59.2%以上 中55.1%以上

目標に対する成果の状況	・目標を達成しているものの、さらに身に付けた知識技能を生かした話し合いや課題を探究していく場面を授業の中で充実させたい。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査と県独自の学力調査であるP・C調査を関連付けて学力実態を把握し、補充指導や授業改善を進める。 ・家庭学習のモデル校を増やし、実践を集積するとともに、県内に周知する。 ・放課後における学習サポートを充実させるため、新たに地域の方が部活動指導を行うことにより部活動顧問が補充的な学習サポートに当たる時間を確保する仕組み作りを進めていく。